

会 議 録

1 会議名

第1回上越市（仮称）厚生産業会館整備検討委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 庁内検討委員会の概要について（公開）
- (2) 委員会での検討の進め方について（公開）
- (3) 建設候補地の現地視察について（公開）
- (4) その他

3 開催日時

平成23年12月6日（火）午前9時00分から

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

2人

6 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：赤羽孝之、樋口 秀、牧田由起、甲田佳子、田中弘邦、秋山三枝子、
清水 満、渡邊亮太、熊田僚己

・事務局：小林都市整備部長

都市整備課 奥田課長、阿部副課長、北島係長、松井主任、新保主任

8 発言の内容

(1)開会

(2)委員紹介、委嘱状交付

(3)都市整備部長挨拶（小林都市整備部長）

本日は、早朝よりご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。皆様には、委員就任について、ご快諾いただき、（仮称）厚生産業会館整備検討委員会を本日、開催できましたことを感謝申し上げます。（仮称）厚生産業会館の整備につきましては、市民が集い、語らう施設を高田地区に建設することにより、市民活動の活性化や地域内交流を促進するとともに、ひいては広域観光や中心市街地の活性化にもつなげることを目的とした市長公約の事業であります。市では、その実現に向けて平成22年度から庁内検討委員会を設置し、施設内容や建設場所等について検討を行ってまいりました。今後は、皆様方から基

本構想（案）の策定に向けた検討をお願いしたいと存じます。これまで、庁内検討委員会で検討した施設内容、規模につきましては、今後の本委員会における議論を通して、市民に愛される利便性の高い施設となるよう検討を進めていただきたいと思います。委員の皆さま方からは、忌憚のない、ご意見を賜りますようお願い申し上げ、一言、ご挨拶といたします。

(4) 委員長選出

※委員長及び副委員長は委員の互選による

(樋口委員)

樋口です。長年、上越市のさまざま計画に携わってこられたご経験をお持ちの赤羽先生に、委員長をお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

【異議なしの声あり】

(司会：奥田課長)

異議なしの声がありましたので、委員長を赤羽孝之様をお願いいたします。それでは、赤羽委員長に委員長席へご移動いただきまして、赤羽委員長から、副委員長の選任についてお願いしたいと思います。

(赤羽委員長)

それでは、どなたか推薦はありますか。それとも私にご一任いただいで、よろしいでしょうか。

【委員長一任の声あり】

(赤羽委員長)

私に一任の声がありましたので、私の方より秋山委員さんをお願いしたいと思います、よろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

(赤羽委員長)

異議なしの声がありましたので、副委員長は秋山三枝子様をお願いいたします。

(奥田課長)

秋山副委員長には、副委員長席へご移動いただきまして、赤羽委員長さんと秋山副委員長さん、それぞれ、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(赤羽委員長)

赤羽孝之です。上越教育大学に赴任してきてもう 30 年以上たちますが、専門は社会系の地理学、特に現在社会地理学です。その関係で、上越をフィールドとし調査し論文もいくつか書いておりますけれども、上越市史の編纂とか市役所関係では、これまでたくさんの委員会に関わらせていただいております。今回は、厚生産業会館の検討ということですが、より良い会館を作るということで今後ともどうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

(秋山副委員長)

改めまして、ごめんください。秋山と申します。この会には、社会教育の委員長ということで参加させていただいておりますが、ご存知かと思いますが、くびき野 NPO サポートセンターという団体を支援する団体を 13 年前に設立いたしまして、今は、そこの理事長をさせていただいております。団体が活発に活動できるようにずっとやってきております。今回、厚生産業会館の検討委員ということで、先日、建設常任委員会を傍聴させていただきました。それから委員を引き受けるにあたっていろいろお話をお聞きし、久しぶりの 11 億円の箱物ということで市民の関心、それから当然民間の関心がとても高いということで、私たち委員の役割がすごく重要だということをこの数週間で身にしみて感じております。わずかな期間ですけれども、私たち委員はなるべく追認とならないように、自分たちの専門的な目をもって検討して、3 月には答申できたらなあと思っております。よろしくお願いいたします。

(奥田課長)

それではここで、お手持ちの資料の確認をお願いいたします。事前に送付させていただきました、(仮称)厚生産業会館整備検討委員会議案書、(仮称)厚生産業会館整備検討委

員会参考資料、それから、本日、受付でお渡しした席次表、各委員のお席には本日の次第、（仮称）厚生産業会館整備検討委員会設置要綱、委員名簿、（仮称）厚生産業会館整備検討委員会検討のポイント（案）、参考資料としまして、春日謙信交流館を建設したときの基本構想（案）、現場視察用資料、最後に、次回会議の日程調整表をお配りしております。ご確認をお願いいたします。不足等がありましたらお知らせください。なお、ここで司会よりご連絡をさせていただきます。本日は、初回の会議ということもありまして、後半は建設候補地の視察も予定させていただいております。後半の視察の時間等も考慮させていただきますと、現場へのご出発を概ね 10 時頃を目処に準備させていただければと存じます。よろしくをお願いいたします。それでは、これより議事に入らせていただきますが、上越市（仮称）厚生産業会館整備検討委員会設置要綱第 6 条により、委員長が議長を務めることとなっております。赤羽委員長、よろしくお願いいたします。

(5) 議事（赤羽委員長）

はい、それではよろしくお願いいたします。議事に入りたいと思います。次第に従い、議事を進めてまいりたいと思います。今ほど、司会の方からも説明がありましたが、本日は初回の会議でありますので、ここでは、今まで庁内、市役所の中で、ご検討されてきた内容や今後の進め方などについての説明がメインとなるのかと思います。また、後半には建設候補地の視察もありますので、本格的な議論は 2 回目以降になるかと思います。そのような点で、議事進行にご協力いただければと思います。それでは、まず始めに、庁内検討委員会の概要につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

（阿部副課長）

阿部と申します。よろしくお願い致します。それでは、私の方から議案書に基づきまして、過去の経緯等を含めてご説明したいと思います。説明内容に関しては、正面のスライドを用いて説明をいたします。よろしくお願い致します。

それでは、まず議案書の 1、2 ページですが、「はじめに」というところに書かれております、目的でございます。これは、市民が集い、語らう施設を高田地区に建設することにより、市民活動の活発化や市内における地域内交流を促進することを目的としております。ひいては、広域観光や中心市街地の活性化にも結び付けていきたいと考えております。

続きまして、過去の経緯ですが、平成 22 年度から庁内検討委員会を設置しまして、施設の内容や規模、建設場所を検討してまいりました。その中では、基本的な機能として、1

つ目は、ホール機能で、旧厚生南会館の機能を想定しているものでございます。2つ目は、高田地区公民館の機能です。これに関しましては、現在の高田地区公民館が老朽化していることなどから、この公民館を新しく改築したいということで考えたものでございます。3つ目としましては、保育、飲食機能ということで、これに関しましては、立地場所によって再度、検討が必要なのかなと考えております。これに関しましては、必ずしも設置をすることではないと考えています。

続きまして、今年度ですが、まず始めに基礎的な調査を行っております。これは、全国の事例調査や候補地の検討でございます。そして配置図の作成、このような基礎的な調査を行って、今回の検討委員会の資料をいろいろ作成しております。この検討委員会の中で、施設内容、規模、建設場所等を検討し、平成23年度の後半には基本構想(案)をとりまとめたいと考えております。

続きまして庁内検討委員会の内容について説明いたします。庁内検討委員会の結果ですが、ホール機能については、基本的には、音楽系のホールとしたいということで考えております。用途はダンス、音楽の発表会、講演会、展示会などを想定しております。旧厚生南会館については、バスケットボールやバレーボールができる機能がありましたが、基本的には今回は、音楽系或いは文化系の機能を設置したいと考えております。そして、客席は可動式とし階段状の席を設置して、それが収納されることによってフロアとしても使えるようなそのような機能を考えております。

公民館機能については、先ほど説明したように現公民館が老朽化しているため、耐震不足の問題があります。このような課題をかかえており、厚生産業会館と合築をすることによって、耐震不足の問題など機能強化を行うとともに、集客の強化も行っていきたいと考えております。

保育や飲食機能につきましては、必ずしも設置するという訳ではなく、先ほども説明しましたように基本的には、施設を利用する利用者の方々が子供を預けることができる保育ルーム機能を中心に検討していきたいと思っております。飲食機能に関しましては、場所によっても検討が必要なんですけど、例えば商店街の周辺に建設する場合は、その機能は必要なく、その周辺の飲食店を利用していただければと思います。もしも高田公園の周辺で設置する場合であっても、年度を通しての利用が難しく大規模なものは不要だと考えております。

施設規模ですが、全体の延べ床面積は、3000平方メートル程度を考えております。内訳は、ホール部分が1500平方メートルで、客席は500席位、これに関しましては、旧厚生南会館のホール部分を参考にして1500平方メートル位と想定させていただきました。基本的

には、小規模な団体の利用を想定しております。

公民館機能につきましては1100平方メートルで、現在の高田地区公民館が使っている面積、部屋数としては、17部屋程度と考えています。

保育飲食機能は、先ほど説明したように小規模施設を想定しており400平方メートル程度と考えています。合算して3000平方メートル程度と考えております。

続いて、今年度行った調査について説明いたします。全国の類似18施設の調査条件ですが、施設規模が延べ床で、2000から3000平方メートル位の音楽系文化系のホールを調査対象としておりますし、施設内容につきましても300から500席程度のホール施設としております。調査内容ですが、ホール面積、駐車場の台数、建設費、維持管理費、この4点を中心に調査を行っております。

続きまして、調査結果ですが、ホール面積は現在のところの想定で500席程度のホールですので、約2500平方メートル程度となります。その内、舞台と客席で750平方メートル、ロビーや廊下は現在の計画がどうなのかということですが、面積は基本的には小規模で、ロビーや練習室などは、公民館機能と共有できるのではないかと考えています。しかし、これにはさらに検討が必要だろうと考えています。

駐車場の台数ですが、これも客席数が500席で、全国で調査をしますとだいたい200台位の駐車場をその施設の周辺に設置している状況です。満席になった場合、だいたい1台当たり2.6席位を設置しているように見受けられました。しかし、地域性などいろいろなことがありますので、今後も検討する必要がありますが、現在計画しているほとんどの候補地では駐車台数を確保できない状況となっています。今後は200台の駐車場を確保するのかどうか検討が必要ですし、まず何台の駐車場を設置するのか、それを建物の近くで全部準備するのか、周辺も含めて検討するのかなどは課題なんだろうなということで考えております。

続きまして建設費ですが、先ほども話があったのですが、延べ床面積3000平方メートル位のもので全国の事例をもとに調査すると、建物のみで11億位というのが最近の事例であります。実際に建てる時には、施設の周辺も含めて外溝とか駐車場とかいろいろなものが必要ですので、実際にはこの金額で完成するということではないということになります。

維持管理費ですが、全国の各事例の実績から調査をしましたが、利用率の違いとかがありまして、なかなか想定が困難であり、逆に事例を調査すると相当なばらつきがでてくるということが分かりました。そのため、各施設の基本構想の段階で、要は、計画の段階で、どの位のものを想定しているかということ調査したところ、年間で光熱水費のみで、人

件費は除いてで、概ね 1500 万円位が調査結果でございます。

建設候補地の抽出ですが、まず抽出条件を設定しました。1 つ目は、主に市や土地開発公社が所有している土地であることと基本的には、市や土地開発公社が所有している土地であれば、建設のスケジュールもスムーズに行くのではないかとということも含めて抽出しております。2 つ目としては、そうかといって私有地であったとしても可能性が高いと思われる場所、そういう場所に対しては、追加買収をしても敷地を必要とする考えもあるかと思われまます。この 2 つの条件を設定して 10 候補地を、昨年抽出しました。その中で、今年度は、2 つ目のステップですが、建設が可能な候補地の選定を行っております。まず先ほど説明したように、2 つの条件から 10 候補地を選定し、その次に、今年の調査結果等を含めて平面モデル図の計画を作りました。だいたいこんな建物になるだろうという計画を作って、その次に、その建物が物理的にその土地に入るか、駐車場の台数とかではなく、その建物そのものがそこに入らなければ検討ができないだろうということで物理的に選定しました。それと 10 の候補地を選定したときから若干時間が経過しましたので、他の計画が決定していないか、要は、その他の計画が決定して実行していれば候補地とはできないので、この 2 つの条件で再度、絞り込みを行って現在は 7 つの候補地が選定されている状況でございます。先ほど説明した平面モデル図ですが、2 つ作りました。1 つは一体型で、真ん中にホールがあって、その周辺に公民館の各部屋がある形で建物としては 2 階建てという施設がまず 1 つです。2 つ目は分離型でホールと公民館の建物が若干、分離しているもので、エントランスがあるという形です。これも公民館部分に関しては 2 階建てを想定しています。どちらかが良いかということは、今後の建設場所や機能などによって変わってくるかと思っています。基本的にはこのどちらかが入らない場所に関しては候補地から除外をしました。

続きましては、建設候補地の説明を行いたいと思います。まず 10 箇所全部を説明します。1 つ目は、高田駅前です。高田駅に向かって南側で、現在は駐車場として使われております。2 つ目は、旧第四銀行高田駅前支店で本町 5 丁目交差点の所となります。3 つ目は、大和の跡地です。4 つ目は、西城 2 丁目で附属小学校の西側になります。高い杉の木が立っている所です。5 つ目は、現高田地区公民館の所です。1. 2 と書かれてありますが、敷地規模によって 2 つを考えました。6 つ目は、旧高田図書館の跡地で、7 つ目は、高田公園のプールの所です。昨年、プールの取り壊しをした所ですが、プールがあってその隣にテニスコートがある所です。8 つ目は、ソフトボール球場です。9 つ目は、教育センターの所です。10 箇所目は、旧厚生南会館が建っていた芝生の所です。この 10 箇所を建設の候補地とし

て選定をしまして、庁内で先ほどのモデル図によって建物が入らない所や他の計画が決定しているところを絞り込んでいきました。まず、2番目の旧第四銀行高田駅前支店の土地に関しては建物が入らず、面積が小さすぎるということで除外をさせていただきました。次に3つ目の大和の土地についてです。これもテレビ等で既に報道されているように再開発が予定されているので除外させていただきました。6つ目の旧高田図書館の跡地については、建物が入らないということで除外をさせていただきました。この3つを除外しまして、7つの候補地で現在検討を進めているということでございます。

議案書の8ページですが、これに関しては現地の視察の時にいろいろ説明をさせていただきたいと思います。7つの候補地についての現状、メリットやデメリットを7つの候補地毎に作成しておりますのでご覧下さい。これは一つの事例ですが、1番目の高田駅のところでございます。こちらは、先ほどの計画の中で敷地の幅の問題がありまして、土地の形状自体が不整形なものですから、ここに関しては一体型ではなく分棟型を計画しました。こうした資料を基に、だいたいイメージができるようにコンピューター上で立体のCGを作っております。検討委員会の内容の説明は以上であります。よろしくお願いいたします

(赤羽委員長)

議案1の説明でしたが、ご意見ご質問はありましたらお願いします。

(樋口委員)

説明の内容は非常に良く分かりました。駐車場のことについてでてきましたが、どのプランを見ても平面で屋外を想定されていたような気がします。高田はかなりの雪が降ってまいります。例えば建物の地下部分、地上階において考えられたのでしょうか。

(阿部副課長)

現在のところ、まず敷地の中で建物を入れ込んで平面的にどの位の台数がとれるかということを検討させていただきました。ですから、必要な駐車台数が決定した場合に、各候補地によって平面でとれない場合は、立体の検討も必要だということを考えておりますので、ご指摘の通り立体にすることによって冬期間利用しやすいとかいろんな方々が利用しやすいなどメリットがでてきます。でも逆に、建設コストが高くなるというデメリットもでてくることもあるので、それに関しては、総合的に判断していきたいと思っております。

(樋口委員)

分かりました。ありがとうございました。ご説明のとおり、平面でつなげればバリアフリーという意味では非常に良いですが、階層を重ねれば重ねるほど、若干のアクセスや避難の問題もありますので、やはり複合的な問題になるのかと思いますので、今の段階では平面で検討されたということですね。

(甲田委員)

今の説明の中での客席数ですが、500 席をメインに、いろいろな施設の経緯を踏まえて検討しているということですが、この客席数の 500 席は確定なのでしょうか。

(阿部副課長)

後半のところでもまた説明をしますが、当検討委員会でも議論してもらおうポイントとしてそれもひとつのポイントなのかと思います。現在のところ、私どもは 500 席ということに関して、本当にどうするのかということも含め、今後、検討していきたいと思っておりますし、昨年の庁内検討委員会では 300 席位ということも意見としてでておりました。現在の上越市内の施設ですが、若干ご紹介しますと、文化会館が約 1500 席あります。リージョンのコンサートホールが約 500 席、頸城の希望館、はとぴあ中郷も約 500 席であります。ですから 1500 席と 500 席はあるけれども、それより小さいものが無い、逆に 1000 位のものも無い状態です。席数に関しては、固定ではなく、この委員会でいろいろな議論をいただきたいと考えております。それと各種団体の方々からもいろんな要望がございまして、約 1000 席位ほしいとか、700～800 席という要望もございましたのでそこも含めていろいろな検討をしていただきたいと思います。

(赤羽委員長)

続いて、次の委員会の進め方について説明をお願いします。

(阿部副課長)

検討のポイントですが、建設候補地におけるものと、ホールと公民館、保育の飲食機能等の、検討のポイントを若干ご説明したいと思います。まず、建設候補地ですが、基本的には場所がポイントなのかと思っております。その場所について使いやすいかどうか、アクセス性や駐車場はどうなのか、また、周辺に対する影響はどうなのか。このようなポ

イントで議論していただければなと思っております。

ホール機能に関しては、どういう利用を想定するのか、コンサートだけなのか、軽運動をするのか、その他どういう利用を想定するのか。例えばダンスなら練習に利用するのか、それとも大会ができるものにするのか等、利用を想定しながら規模の検討もしていただきたいと思っております。多目的ということですので客席数に関してもいろいろな議論をお願いしたいと思っております。

公民館ですが、基本的には現在の公民館機能とは別に検討をお願いしたいのですが、逆に現公民館が老朽化していることで、利用者の方々からこんな機能があればいいというそういうことがあれば、機能を追加することが必要なのかなと思っております。基本的には、機能や面積や部屋数なのかなと思っております。

保育と飲食機能については、まず必要かどうかということがあるのかなと思っております。先ほども説明したように施設の利用者が一時的に預けると考えると、逆に若干それよりも機能強化したものを保育という視点で使えるというような機能を設置するというところの議論をお願いしたいと思っております。

今後の進め方ですが、本日は第1回目の検討委員会ということで、今まで庁内で実施してきた検討委員会の内容の説明と、候補地の現地視察を行っていただきます。

2回目から本格的な議論をしていただきまして、基本的な施設機能やホールの規模、公民館の改築の問題などを議論していただきたいと思っております。また、建設候補地に関しては、できれば検討委員会の中で絞り込みを行っていただき、2~3案位での絞り込みをお願いしたいと思っております。

建設候補地の絞り込みがされたら、その後、現在の各候補地に関して、その可能性が高くなってきた段階で関係団体との調整をさせていただく予定です。そして、その調整結果等を委員会へ報告させてもらって、そのような方々の意見を聞いた中で再度、候補地の検討を行っていただきたいと思っております。施設内容に関しても併せて具体的な検討を行っていただきたいと思っております。年度末には、基本構想(案)のとりまとめということで考えております。参考までに全体スケジュールを説明させていただきます。平成23年度は基本構想(案)を策定したいと思っております。24年度には基本設計と実施設計を行って、25年度に着工が出来ればなということで考えています。25年度に着工して26年度に完成し供用をさせたいというところが、現在の計画でございますが、あくまで計画ですので基本的には十分な議論を行ってまいりたいということで考えております。

(秋山副委員)

候補地を見るにあたって視野に入れるのに説明願いたいのですが、これまでの庁内検討委員会の中で、今回の施設の名称が厚生産業会館ということで、村山さんの公約でも厚生産業と言うことについて注目したい部分があります。産業という視点が、これまでの説明ですと音楽ホールと公民館と言うことで産業というところがちょっと抜け落ちているような気がしまして、これまでの意見交換の中で議論がありましたら教えて下さい。

(奥田課長)

仮称でございますけれども、厚生産業会館ということになっております。この名称につきましては、これまでの検討の中で内面的には国の補助金等を入れて、なるべく市民の皆さんのご負担である一般財源の持ち出しを少なくしていこうという検討をしてみました。その中で、国の皆さんとも話をする中で、名称については産業がついた方がいろいろと補助金などの申請をしていく中で名称としていいのではないかというアドバイスもございましたので、産業というような名前がついております。庁内検討の中でもその辺をどうするかという意見もございました。ただ、その中で本格的に産業と言ったときには、物産ですとか、即売会ですとか、或いは展示も考えられます。また、私どもでは、そちら部署にも説明をしましたが、全くそれをしないという訳ではないのですが、それを全面的に出したのではなくて、重量物が入って車で荷物を持ち込んでやるということまでは考えておりません。しかし、簡単な展示などであればできるようにしたいと考えております。名前から受ける印象ですと産業という面が薄いということでございますし、また庁内の中で議論していきたいと思っております。この機能等につきまして、先ほども説明しましたように、これから皆さんの議論の中で検討していただきたいと思っております。今ほど説明しましたように、どれも確定しているという訳ではございませんので、ホールの機能ですとか大きさ、施設場所等は皆さんとの今後の議論の中で、十分な意見交換をさせていただきたいと思っております。

(秋山副委員長)

引き続きもう一点だけですが、今の建設スケジュールを見ますと新幹線開業と重なってくるので、並行在来線の高田駅周辺も候補地にあがったものですから、その辺の関係も話は出ましたでしょうか。

(奥田課長)

新幹線の開業との関連について関連付けはなく、我々のスケジュールの中では、速やかに建設に着手していきたいという思いもございます。検討している一部の財源の中で基本的に26年度までに着工した方がいいと考えています。あえて新幹線或いは在来線の利用は直接的には関連していませんが、しかし、またその中でも議論いただければと思います。

(赤羽委員長)

今後、何回か議論を重ねていくわけですが、一番難しいのは、多機能であり複合的機能だという点だと思います。中心的機能はホールと公民館、性格の異なった機能が一緒に合築するというところだと思います。我々が考える利用者の違いもまたそこに含まれるというところだと思います。それを併せて考えることもまた難しいところだと思います。

(赤羽委員長)

次に(3)の建設候補地の現地視察について説明をお願いします。

(北島係長)

北島と申します。本日、お手元に配布しました、現場視察資料を基に現地を説明させていただきます。10時を目途に出発させていただきますので、資料をお持ちになり視察をお願いいたします。

(赤羽委員長)

次に(4)のその他についてですが、事務局から何かありますか。

(阿部副課長)

一点、説明をさせてください。(仮称)厚生産業会館の説明につきましては、建設企業常任委員会の方でも、先日、説明を行っております。その中で建設企業委員会の方でも出た意見を説明したいと思います。

建設候補地の中でソフトボール球場があり、現在のところ全面を使う計画にはなっていないのですが、全面を使って、また全面を使うならソフトボール球場の移転もしてその中で全体を使ったらどうなのかという意見もありました。決定しているということではない

のですが、もしも高田地区公民館が候補地にならなかった場合、跡地はどうなるのかなどのご質問やご意見もありました。また、ホール機能についても計画ですと全国の事例よりも小さいのではないかなど、もう少しゆとりが必要なのではないかという意見がありましたので、ご報告します。

(赤羽委員長)

最後に委員のみなさまから何かありますか。

【無しの声あり】

(赤羽委員長)

それでは、10時を目途に視察がありますので、本日の議事は以上で終了とします。議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

(6) 次回の開催日程について (奥田課長)

それでは、次回の開催日程でございますが、事務局の案としましては、年明けの1月中旬から下旬頃を予定しています。本日、受付にて1月中旬から下旬にかけての日程調整表をお配りさせていただきましたので、後日、FAXにて、ご回答いただければと思います。ご回答いただいた調整表から、皆様方のご都合の良い日程を確認し、後日、改めて文書にてご案内させていただきます。また、本日の会議録の確定版を、上越市のホームページを通じて、広く市民の皆さんに公表したいと考えておりますので、ご承知おきください。

(7) 閉会

※第1回 上越市(仮称)厚生産業会館整備検討委員会を終了後、引き続き、建設候補地7箇所の現地視察を実施

9 問合せ先

都市整備部都市整備課公園管理係

TEL : 025-526-5111 (内線 1379)

E-mail : toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。